



シンポジウム会場の国際ホール座席は、ほぼ満席の賑わい



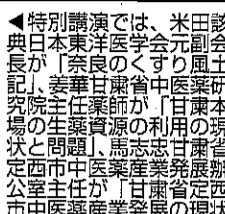
馬講師



姜講師



米田講師



米田講師



米田講師



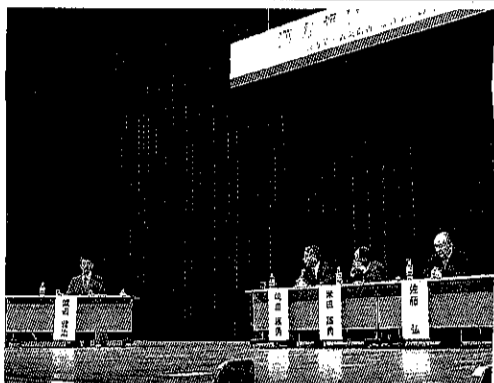
米田講師

# 「奈良のくすり」が集結

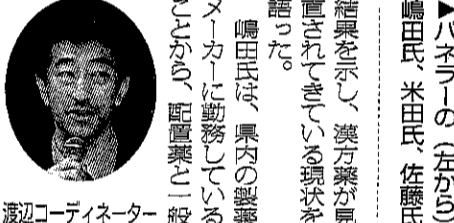
奈良県と甘肅省の「漢方薬日中シンポジウム」が十一月九日に奈良市の奈良県文化会館国際ホールで開催された。「漢方薬・温故創新」をテーマに講演やパネルディスカッションが行われ、県下の製薬企業、配製販売業者、家庭薬製業者、薬剤師等七百五十四人が参加。パネルディスカッションでは、生薬生産地・奈良の復活に向けた提言をまとめた。また同会場では、奈良の歴史や県産生薬製造現場、生薬製剤、県内製薬企業等のコーナーに二十四企業・六公的機関二団体の展示・一書店が出展。薬草栽培コーナーでは、県農業水産振興課等が県内の薬用植物生産状況を、県植物機能活用クラスター協議会が明日香村での大和トウキ栽培を真々パネル展示。医学会同体体験コーナーでは、製薬、薬膳中華弁当、薬膳カレー、葛ムーンス販売センター等も出店、会館は「奈良のくすり」に染まり千四百人を超える人々が賑わった。

## 奈良の生薬産業復活にパネルディスカッション

パネルディスカッションでは、慶應義塾大学の渡辺賢治准教授をコーディネーターに東京女子医科大学の佐藤弘教授、日本東洋医学会の米田誠典副会長、日本生薬連合会の本生薬部長、鳴田康男氏らが参加。佐藤氏は、医療現場で八割以上の医師が西洋薬に傾倒している現状を憂い、生薬産業の復活を促す必要があることを述べた。米田氏は、生薬産業の復活には、生薬の生産地である奈良の復活が鍵となることを述べた。渡辺氏は、生薬産業の復活には、生薬の生産地である奈良の復活が鍵となることを述べた。



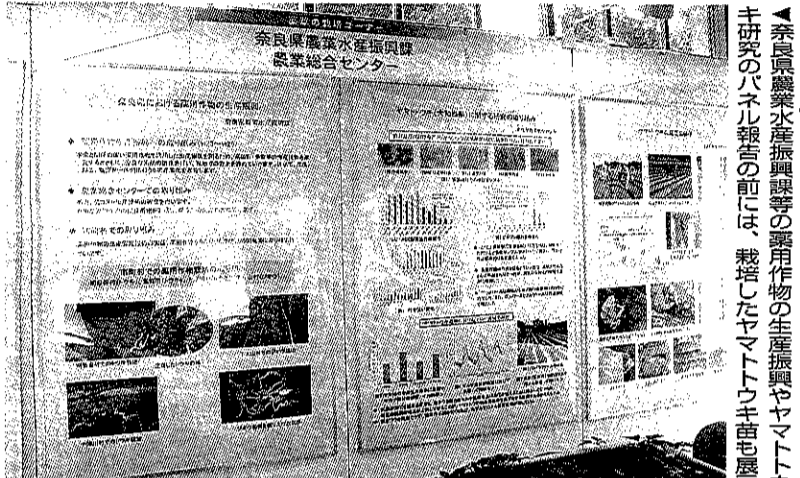
▲生薬・製造のパネラーによる奈良の生薬の今後を議論。右から渡辺賢治氏、佐藤弘氏、米田誠典氏、鳴田康男氏。



渡辺コーディネーター



米田誠典



▲奈良県農業水産振興課等の薬用植物の生産振興やママトウキ研究のパネル報告の前には、栽培したママトウキ苗も展示



正倉院宝物の薬物



▲身近な薬草の写真と絵画展。公募したもので、応募作品は79点、入賞作品は11点。右端が絵画部門特選の「つばき」



奈良の薬湯を足湯で体験できるテントは大人気 会館前の案内看板

鳴田氏は日本薬局方では中国産のトウキは使えないという規定があることから、日本産のトウキの苗を中国で栽培し、輸入するといったシステムに変わりつつある。価格的に良いが、逆に、日本の産地はその価格に対応できず、トウキ栽培の生産者が減少してきているのが現状である。佐藤氏は、生薬産業の復活には、生薬の生産地である奈良の復活が鍵となることを述べた。米田氏は、生薬産業の復活には、生薬の生産地である奈良の復活が鍵となることを述べた。渡辺氏は、生薬産業の復活には、生薬の生産地である奈良の復活が鍵となることを述べた。

北陸唯一のアルミ箔加工総合工場を有する

PTP用アルミ箔はタナベの技術で

# アルミ箔

全線アルミ箔・薬材・食品食品包装用アルミ箔・紙・セロファンその他・粘着グラビヤ印刷加工一式

(株)ラミテックタナベ 富山県富山市向新庄町1丁目1番32号  
電話(076)451-1311 FAX(076)451-3941

デザイン 品質保護 機械適性

3つの観点から包材をプロデュース

各種自動包装機用複合フィルム  
P.T.P用シート、アルミ箔

KYOWA 共和紙業株式会社  
化成品事業部

〒939 富山県水橋石割1-20 TEL(076)479-2900  
-0561 FAX(076)479-1910

薬日新聞健康情報

# + α

プラス アルファ

ベストセクションNo.1  
タブロイド判48ページ22タイトル

1部800円(税込)  
薬日新聞富山本社企画部  
TEL 076-421-5666  
FAX 076-421-5777

# 『奈良のくすりのプロフィールⅡ』にみる“大和物”の歴史

## 奈良県医療政策部薬務課発行

【生薬栽培の伝統】日本最古の朝廷がおかれた奈良県は、古来からくすりの原料である生薬とも深い関わりをもっています。疫病に備え、大和を中心とする近畿地方で薬用植物が栽培されたほか、中国等の諸外国から渡来の生薬も大和に集まりました。



A4判28頁建力ラリ  
印刷。1995年本を  
ニューアル。シンボ  
ウム参加者に配布

また歴史的な要因だけでなく、地質的にも恵まれた奈良県は、種々の生薬の栽培に適した環境にあります。周囲を山に囲まれ、十分な降水量があり、夏は暑く冬は寒く、積雪の少ない気候です。江戸時代に入って薬業の需要が高まり、日本国内における自給自足対策として、中国産の薬用植物の種を輸入する一方、山野に自生する薬草、薬木の類を調査、採集し、それを栽培化する試みが盛んに行われてきました。特に、八代将軍吉宗は、諸國に薬草栽培を奨励しました。そういった状況において、古くから薬用植物の栽培が行われてきた大和(奈良県)は、重要な一地域となりました。そして、その日本人の体質に合った、優良な生薬の種が育てられ、栽培されました。

明治時代になると、北海道では開拓政策のもとで、薬用植物の大規模な栽培が行われ、国内での生薬の栽培の中心は北海道となりました。しかし、大和地方を中心として育まれた国内産用生薬の需要は高まり、日本国内における自給自足対策として、中国産の薬用植物の種を輸入する一方、山野に自生する薬草、薬木の類を調査、採集し、それを栽培化する試みが盛んに行われてきました。特に、八代将軍吉宗は、諸國に薬草栽培を奨励しました。そういった状況において、古くから薬用植物の栽培が行われてきた大和(奈良県)は、重要な一地域となりました。そして、その日本人の体質に合った、優良な生薬の種が育てられ、栽培されました。

こういって状況を鑑み、日本東洋医学学会などで国内優良種苗の保存事業が行われています。『江戸時代における奈良県での生薬生産』

大和では、将軍吉宗の時代に、幕府の採集使・植村佐平次政勝による薬草採取旅行が行われました(一七二九年)。

また、藤野野矢の時代に、幕府の採集使・植村佐平次政勝による薬草採取旅行が行われました(一七二九年)。

藤野野矢の時代に、幕府の採集使・植村佐平次政勝による薬草採取旅行が行われました(一七二九年)。

採集した薬草とともに、(現在の宇陀市にある)自らの背後にある台地の畑に栽培しました。こうして始まったのが藤野野矢を中心とした貴重な薬用植物の栽培が行われ、藤野野矢は、その研究と薬業の整備に努めたため、現在でも、数少ないという雄大な朝焼けの風景を詠った場所です。

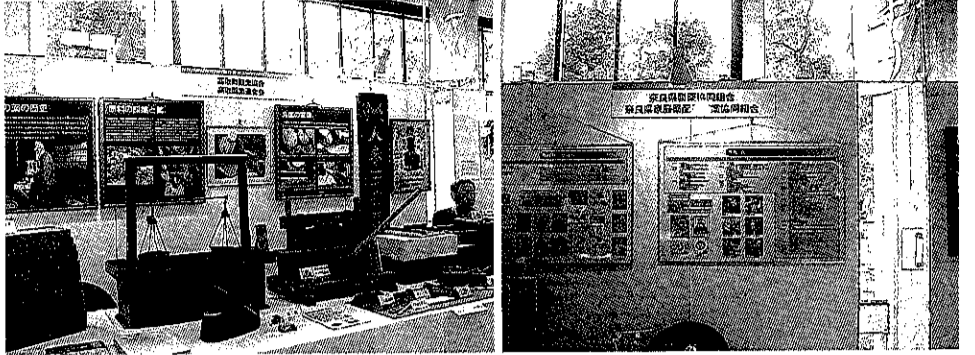
宇陀の狩りとは「薬狩り」を指します。薬狩りとは、男性は薬になる鹿などの動物を狩り、女性は薬草を採り、飛鳥・奈良時代の宮廷行事です。

このように、藤野野矢の時代に、幕府の採集使・植村佐平次政勝による薬草採取旅行が行われました(一七二九年)。

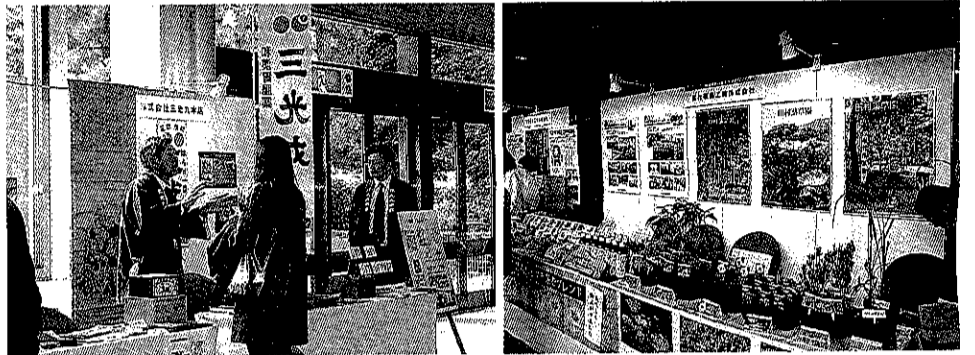
また、藤野野矢の時代に、幕府の採集使・植村佐平次政勝による薬草採取旅行が行われました(一七二九年)。

藤野野矢の時代に、幕府の採集使・植村佐平次政勝による薬草採取旅行が行われました(一七二九年)。

▼高取町薬業連合会・観光協会が昔の製薬器具を展示 ▼奈良製薬・配置組合は奈良の薬パンプ配置と歴史紹介



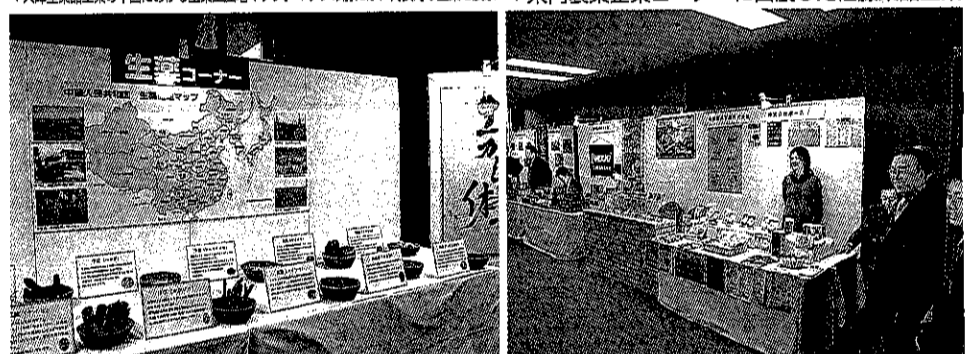
▼配置薬業の資料を展示した三光丸本店 ▼田村薬品工業は田村薬草園の紹介とハーブ苗・ハーブ茶などを販売



▼三星製薬は生薬湯の試飲を実施 ▼大和合同製薬、至誠堂製薬、ワキ製薬の展示ブース



▼大峰堂薬工業の中国における生薬生産地マップ。マップの前には、代表的な生薬を展示 ▼県内製薬企業コーナーに出席した佐藤薬品工業



▼薬業化学工業は県産の生薬エキス入り柿渋まほろば石鹸を紹介



▲大峰堂は、ハーブを中心とした500種類の草花を使って庭園をつくり、会場を盛り上げた ▲荒井知事は、内容が豊富で充実した展示に感心し、企業スタッフと談笑、試飲も楽しんでいました



講演などがあつた国際ホールロビーも、たくさんの人出で賑わっていた

## 漢方の診断方法など学ぶ 奈良県・奈良配協薬事認定講習会

奈良県配協薬事認定講習会(谷直人議長)と奈良県医薬品配協(井筒大勝会長)は、十一月九日午前十一時から、奈良市登大路町の奈良県文化会館で、奈良県配協薬事認定講習会を開き、七十人が受講した。

この認定講習会は、例年九月に橿原市で開催されてきたが、今年度は県主催の漢方薬日中シンポジウムに併せて開いた。

冒頭、薬務課の吉川正人薬事・献血係長は「国民の医療、健康への関心が高まり、自分の健康は自分で守るというセルフメディケーションが浸透してきている。そういった外部環境が整いつつあるなか、消費者としてのつながりをお勧めし、薬の専門家として、門外者として、更に質向上を図り、国民の健康増進のために尽力願いたい」とのメッセージを代読した。

続いて、井筒会長は「三月の東日本大震災や九月の台風十二号による被害は大きき、会員の特



井筒会長

シンポジウムの午前中に開催、70人が受講し、会員の得

午後からは、受講者全員が「漢方薬日中シンポジウム」に参加し、特別講演「奈良のくすり」や、中国・甘肅省の生薬資源の活用状況と問題、中薬産業発展の現状と問題の講演、漢方薬のあり方でのパネルディスカッションなどを受講。講演終了後、受講済みシールが配布された。